

福島工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	非言語コミュニケーション		
科目基礎情報								
科目番号	0142			科目区分	専門 / 選択			
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科	ビジネスコミュニケーション学科			対象学年	4			
開設期	前期			週時間数	2			
教科書/教材								
担当教員	松江 俊一							
到達目標								
①非言語コミュニケーションの基礎的な理論を理解する。 ②心理学の基礎を理解し、円滑な人間関係を図る能力を身につけることができる。 ③個人と組織の関係についての知識を習得する。								
ルーブリック								
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1								
評価項目2								
評価項目3								
学科の到達目標項目との関係								
学習・教育到達度目標 (B)								
教育方法等								
概要	非言語コミュニケーションについての基礎的な理論を理解し、それを現実に応用できる力を養う。 この科目は、企業経験のある教員が事例をもとにコミュニケーションの課題を具体的な事例を交えて授業を行う。							
授業の進め方・方法	講義及び番組の視聴を中心に授業を進める。							
注意点	授業中の講話や資料による知識は問題把握のきっかけにすぎない。関連する記事や書籍を自身で調べることを心がけること。							
授業計画								
前期	1stQ	週	授業内容			週ごとの到達目標		
		1週	非言語の世界 1			主な非言語チャネルとその機能 1		
		2週	非言語の世界 2			主な非言語チャネルとその機能 2		
		3週	自己表現技法 1			プレゼンテーションの目的 win-winの心理学的視点		
		4週	自己表現技法 2			アサーション、ダブルバインド		
		5週	自己実現 1			態度変容、デシジョンメーカー		
		6週	自己実現 2			印象形成 対人認知における歪みと個人差		
		7週	自己実現 3			帰属におけるエラーとバイアス		
	2ndQ	8週	自尊感情			社会的比較理論 セルフディスクレパンシー理論		
		9週	援助行動			傍観者効果、責任の分散 多数の無知、評価懸念		
		10週	態度と感情			説得的コミュニケーション		
		11週	対人行動			自己開示、援助行動、攻撃		
		12週	集団と個人			集団ダイナミクス、ジレンマ、集団間差別		
		13週	マスメディアの影響 1			複合影響説、議題設定効果、培養効果		
		14週	マスメディアの影響 2			沈黙の螺旋、第三者効果		
		15週	世論と流言			合意性過大視効果		
16週	前期学習したことの総括			前期期末試験解答用紙の返却と解説				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標								
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週	
評価割合								
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計	
総合評価割合	60	40	0	0	0	0	100	
基礎的能力	60	40	0	0	0	0	100	
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0	
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	